

Abstract

AROMA RESEARCH No.71(Vol.18 No.3)

ウェスタンレッドセダー（ベイスギ）精油事業の展望

東 昌弘

<要旨>

北米西海岸多雨地域には、広範囲に針葉樹林が植生し、世界の一大森林資源地帯となっている。全体の約3分の1はウェスタンレッドセダー（ベイスギ）とされ、80年以上の樹齢のものは **Old Growth** といわれる大径木である。この大径木には γ -ツヤプリシンというヒノキチオールの変性体が多く含まれる。この物質は β -ツヤプリシン（ヒノキチオール）と類似の物性を示すため、化粧品や食品向け防腐剤用途の開発が期待される。現地カナダ側の呼びかけに呼応して、青森ヒバ由来ヒノキチオールの製造技術を有するキセイテックが技術提供する形での共同事業を始めるべく、現地ポートアルバーニ市当局の協力のもと、事業可能性検討や資金集めなど準備を進めている。

<キーワード>ウェスタンレッドセダー、ポートアルバーニ市、 γ -ヒノキチオール、WRC Oil (G-85)、ツヤ酸